



文字・音声・映像！
世界は表現で溢れている。

高速インターネットの普及によって、
個人の情報発信力は世界レベルにまで
高まりました。



美しい文章で短大生活の様々な
体験を判りやすく表現する



漢字・ひらがな・カタカナ、
三種類の美しい文字を持つ日本語は、
世界の言語を見事に翻訳可能な優れた表現ツール。

その特徴を活かし方を実用を含めて講義します。

○日本語表現Ⅰ・Ⅱ

感じる疑問を分かりやすく解き明かす！
メディア社会は身近なテーマであり、あなたの積極的な参加を期待！

インターネット社会論

ネットの登場は既存の
メディアをどう見直す機会です。

それその役割を具体的に学びます！

○メディアコミュニケーション

実践的研究。
マスコミの調査、活用メディアの読み方を
繰り返し、メディアの役割と課題も
浮き彫りに！

○情報発信特講



韓国を学んで、
日本と韓国のコミュニケーションを考える
韓国研究の基礎編。
映画やテレビドラマを通じて
韓国文化・社会への関心を
高めた後、韓国史の概観を把握します。

○日韓コミュニケーション論

取材・記事作成・写真撮影・編集の実務を演習。
全国紙大分版に掲載されている大学生が作るページ
『キャンパスカフェ』の取材・執筆
キャンパス発信地活動『府内エコフェスタ』にも参加

写真は、世界と自己の
関わりを写すものです。
一泊二日の野外撮影実習を
通じて、表現技術を磨きます！

○ドキュメンタリー写真講座

人間の
品性に関わる
重要な専門領域！「伝える力」を持った
コミュニケーションは人を感動させ、
行動を喚起できます！

○アナウンス講座

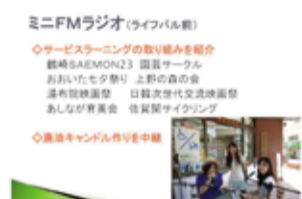


演出とは何でしょうか？
中国では演劇、つまり演技を専らと、
動作にメッセージを含めて、
年末に音の泉ホールで
全学挙げて取り組む舞台公演で、
その成果を問います！
効果的な演技は、
500人を惹きつける感動を与えます。
次回は年明け一月十五日、
シヨパンの生演に挑みます！

○映像表現演出



ミニFMラジオ(ライブ録音)
○サービスマーケティングの取り組みを紹介
○海外研修
○海外研修(海外研修)
○海外研修(海外研修)



○パフォーマンス
英文短大ジャズダンスサークル「Leo」
日本文理大の韓国留学生による
「サムルパ」



中山 敬吾

学長コラム

皆さんは本学に入學されて
どのような毎日を送っていますか？
楽しいですか、それとも
苦しいですか、そのことを
誰かから相談を受けたこと
はありますか？
今回は私の
経験を通して「社会との関わり」
についてお話しましょう。
私はかつて米國勤務の経験
があります。様々な国から来
た人たちの交流で、人間
は皆同じだ！と心強く思っ
た経験もありましたが、どう
しても理解し合えなかった
こともあり、それが、最近
西遊記に入った「木を見る
西洋人と森を見る東洋人」と
いう本を読んで目からウロコ
が取れました。「生まれた国
も、育った環境も違う人同士で
も、話せば分かる」と思っ
ていたことが、実は大きな誤解
で、理解し合うにはお互いの
異なる努力が必要だとた
に分かったからです。
日本といわれる村社会、移
民国家の米國社会、長い歴史
を持つ西ヨーロッパ社会、悠
久の歴史を持つ中国社会、悠
れを取り上げても、そこに属
する人々の発想や思考形態は
根本的に違います。交流とは
そのことを知った上で組み立
てなければならぬのです。
情報には必ず知覚・感情・
思考が伴いますから、心と心
の情報交換でもあり、その育
った経験に基づくものの考え
方は、情報の内容を左右する
ことは当然です。学校の時
には家族同士、学校では先生
やクラスメイト、成長につ
れてどんどん世界は広がりま
す。しかしその段階はまだ自
分の育った狭い社会の中で
話です。それでも人間は一人
一人が違って、同じ情報を
受け取っても、反応は十人十
色です。情報の流し方もいろ
いろあって、何をどのように使
えば自分の意見が正しく相手
から発信された情報を正しく
理解できるのかなを学ぶこと
で、積極的な「社会との関
わり」方が分かるようになる
でしょう。
それには、いかに積極的に
多様な「社会との関わり」を
経験するかが大切です。海外
語学実習や、実際に社会に出
て行って学ぶ機会を重視して
いる本学は、書いたものを頭
で学ぶだけではない、広い社
会を知る絶好の環境です。こ
う「それを利用して」という
気持ちがあれば、得るものは大
きいと確信しています。

Psychology advertisement with title 'あなたが生きている限り「心」はいつもはたらいています！' and various sub-sections like '発達心理学', '社会心理学', 'グループワーク論', '産業・組織心理学'.